

# 高電圧絶縁抵抗計（可変～11kV）

## 高電圧絶縁抵抗計

「高圧受電設備規程」で紹介される弱点比・成極比・キック判定等  
ケーブル絶縁劣化診断試験に対応

### DI-11N

### DI-11NS（トランクケース仕様）

- 試験印加電圧は-1kV～-11kVまで可変式  
「リニア可変式」と弱点比試験に便利な「ステップ可変式」をスイッチ切換で選択
- G（ガード）接地法で測定することにより、敷設された高圧ケーブルから高圧機器・器具を分離することなく、ケーブル絶縁層の抵抗の測定が可能（ $R_o$ 値=10k $\Omega$ ）
- G（ガード）接地法とE（アース）接地法の測定結果比較が容易な切り替えスイッチを装備
- 試験対象物の絶縁抵抗が低い場合、垂下特性により試験電圧が抑制し保護することで非破壊試験が可能
- 成極比試験・キック判定に有効な記録計出力端子を装備
- 試験終了時に試験電圧の放電機能が自動で動作
- 使用電源は、内部電池・外部交流・直流電源の3電源方式



### DI-11N 税込価格: ¥264,000

外形寸法・重量：320(W) × 270(D) × 120(H)mm ・ 約4.05kg



本体表面  
・ 樹脂脚部  
・ バッテリー収納フタ



収納時上面  
・ 可倒式把手  
・ パツチン錠

### DI-11NS 税込価格: ¥308,000

外形寸法・重量：334(W) × 288(D) × 143(H)mm ・ 約6.5kg

### G（ガード）接地測定適用品

高圧受電の引込みに使用される電力用ケーブルには、PASやUGS等の区分開閉器や電力会社の計器用変成器（VCT）が接続されており、単純な回路=芯線と接地間のE接地法による測定では正しいケーブルの良否判定が行えません。G（ガード）接地法では、これらの高圧機器を分離することなく、ケーブル絶縁層のみの絶縁抵抗（ $R_c$ ）の測定が行えますが、G（ガード）接地法での測定は、金属遮へい層（シース）の絶縁抵抗 $R_s$ が1M $\Omega$ 以上の場合に有効です。本器内部抵抗 $R_o$ （10k $\Omega$ ）との抵抗比率により、99%以上の高い確度で、敷設中のケーブル絶縁層の抵抗測定が行えます。本製品の場合には、スイッチ操作により簡単に切換えが可能です。

主な仕様	
DI-11NとDI-11NSの電気的仕様は同一となります。尚、改造によるケース交換も承ります。	
定格測定電圧	DC-0.5～-11kV（負極性 デジタル表示）
電圧設定	① ステップ可変 粗調整×1kV（-1kV～-10kV）、微調整（+0.1～-1.1kV） ② リニア可変 DC-0.5～-11kV 無段階可変 ③ シース抵抗 500V固定
有効測定範囲	10M $\Omega$ ～100,000M $\Omega$ （100G $\Omega$ ）
許容差	指示値の±10%以内（-1kV時：10M $\Omega$ ～10G $\Omega$ -10kV時：100M $\Omega$ ～100G $\Omega$ ）
表示方式	指針形アナログ指示方式
測定電流	定格電流：100 $\mu$ A（電圧出力の垂下特性に影響） 短絡電流：2～2.5mA
電源	① 内蔵電池電源 DC12V Ni-cd電池 ② 外部直流電源 DC11～13V（3A） ③ 外部交流電源 AC90～260V 50/60Hz
記録計出力	電流出力：DC10mV/ $\mu$ A（上限：2.5V/2.5mA時） 電圧出力：DC100mV/kV（上限：1.1V/11kV時）
自動放電機能	5M $\Omega$ （スイッチOFF後に約1分間動作）

## DI-11シリーズ/IP-701G用 電池

- 内蔵電池の交換は、お客様でも簡単に行うことができますが本体の性能確認も同時に行うことが望ましいため弊社へご用命いただくことを推奨します。
- お客様ご自身で内蔵電池の交換をされる場合は、交換用電池を弊社よりお求めください。（対象機種：DI-11N/IP-701G）



税込価格: ¥19,800

## DI-11N/05N/06用

### 三線一括ラインコード

- 三相一括測定時における短絡作業の効率化や外し忘れへの安全対策に効果絶大！



DI-11N/05N/06用  
三線一括ラインコード

コード収納袋付 税込価格: ¥24,200

コード収納袋なし 税込価格: ¥19,800